

学位論文提出の手引き

(課程博士)

帯広畜産大学大学院畜産学研究科

博士後期課程／博士課程

I. 修了要件

畜産科学専攻博士後期課程（以下、「畜産学博士」）は3年以上在学し12単位以上、獣医学専攻博士課程（以下、「獣医学博士」）は4年以上在学して30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することが必要です。また、畜産学博士において「畜産衛生学」の学位を取得するためには、畜産衛生学位プログラムの学位取得要件に従って16単位以上修得する必要がありますのでご注意ください。

ただし、優れた研究業績を上げた者については、在学期間を短縮し早期修了を希望することができます。

（大学院学則第16条の2、学位取扱細則第5条、早期修了取扱規程、早期修了取扱要領）

II. 学位論文受理の条件

学位論文の受理の条件は以下のとおりです。

次の（1）～（9）をすべて満たしていなければなりません。

- （1）学位論文を提出しようとする学期の末日（3月31日又は9月30日）までに、所定の在学期間（畜産学博士は3年、獣医学博士は4年）以上の在学期間を有していること、若しくは、早期修了を認められていること。
- （2）所定の時期（学位論文を提出しようとする月の12ヶ月前から6ヶ月前までの間）に、中間発表会を行っていること。ただし、早期修了を認められた者のうち中間発表会を実施していない者については、速やかに中間発表会を実施すること。
- （3）授業科目について、修了要件単位（畜産学博士＝必修9単位、選択3単位以上、獣医学博士＝必修18単位、選択12単位以上）を修得または修得見込みであること。
- （4）学位論文は、単著で不正引用がないことが確認されていること。
- （5）学位論文の基礎となる学術論文（単著論文、あるいは共著論文のうち自身が筆頭著者である論文）（以下「基礎となる学術論文」という）が1編以上あること。
- （6）基礎となる学術論文は、審査制度の確立されている学術雑誌に掲載あるいは掲載が決定されたものであること。なお、学術雑誌とは、Current Contents に採録されている雑誌、日本学術会議の協力学術団体が発行する雑誌、大学教育センター大学院教育部会議において、各専門領域において評価が高いものであると確認された雑誌を指すものとする。
- （7）原則として、基礎となる学術論文には、少なくとも1編の Regular Article / Full Paper を含むこと。基礎となる学術論文に Regular Article / Full Paper が含まれていない場合は、少なくとも1編の特に優れた学術論文を含み、かつ主査及び副査全員に、基礎となる学術論文として相応しいと認められること。
- （8）基礎となる学術論文は、当該課程在学中に掲載されたもの、又は掲載が決定されたものとする。また、学位申請時に印刷公表されていない場合は、「論文掲載証明書」（発信元、日付が確認できる場合は、FAX、E-mail の写しでも可）を提出することで、公表されるものとして取り扱うこととする。なお、「論文掲載証明書」は、「本人の氏名、学術雑誌名、論文名、Vol. No.、発行年月日」等が確認できるものであること。
- （9）基礎となる学術論文のうち、共著のものについては、申請者以外の共著者が学位申請の基礎となる学術論文として使わない旨の承諾書を提出すること。

III. 学位申請期日

学位申請期日は、3月学位授与の場合は12月10日ごろ、9月学位授与の場合は6月30日ごろです。年度の暦により前後しますので、必ず、年度始めに大学が公表する学位申請関係日程を確認してください。

上記の期日に間に合わない場合でも、条件を満たした場合には課程博士として学位を申請することができます（遡及修了）。取り扱いについてはX. を参照してください。

なお、提出先は入試・教務課教務係です。(学位取扱細則第6条)

IV. 学位申請提出書類

提出書類	様式	提出部数
①学位論文審査願	別記様式第2号	1部
②論文目録	別記様式第4号	5部
③学位論文要旨	別記様式第5号	5部
④履歴書	別記様式第6号	1部
⑤学位論文		4部及び電子ファイル
⑥基礎となる学術論文		各5部
⑦参考論文		各5部
⑧承諾書(基礎となる学術論文が共著である場合は、添付すること。)	別記様式第7号	各1部
⑨論文掲載証明書(基礎となる学術論文が印刷公表されていない場合に添付すること。)		各5部
⑩その他必要と認めるもの		

※上記②, ③, ⑤, ⑥, ⑦, ⑨の部数は、学位審査委員が4名の場合の部数です。4名を超える場合は、「学位論文審査委員の人数+1」部を提出してください。

(国立大学法人帯広畜産大学大学院畜産学研究科学学位取扱細則第7条)

V. 学位論文審査及び最終試験

1 学位論文審査

- (1) 学位審査委員会の審査委員予定者の選考は、原則として主指導教員が行い、大学院教育部会議が決定します。
- (2) 学位審査委員会は、主査1名、副査3名以上の計4名以上の審査委員により構成されます。主査は、当該課程の主指導資格を有する教授、准教授または講師のうち、原則として、主指導教員以外から選出されます。
- (3) 学長は、学位申請者から提出された学位論文について、大学院教育部会議の議を経て受理の可否を決定します。正式に受理された学位論文は、大学院教育部会議にその審査が付託されます。
- (4) 大学院教育部会議は、論文ごとに学位審査委員会を設置するとともに、学位審査委員会による審査結果を基に学位の授与の可否を審議させるため、学位授与審査会を設置します。
- (5) 学位審査委員会は、主査が主催者となり公開審査会を実施します。
- (6) 公開審査会は、申請者による学位論文の口頭発表と質疑応答により行います。
- (7) 主査は、副査と協議の上、論文審査結果を「学位論文審査の結果の要旨」により取りまとめ、学長に提出します。

2 最終試験

- (1) 学位審査委員会は、学位論文を中心として関連のある科目または専門分野等について、口述又は筆記により最終試験を実施します。
- (2) 主査は、副査と協議の上、最終試験の結果を「最終試験の結果の要旨」により取りまとめ、学長に提出します。

VI. 学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

【畜産科学専攻博士後期課程】

帯広畜産大学大学院畜産学研究科畜産科学専攻（博士後期課程）では、教育課程で定められた授業科目を履修して所定の修了要件単位を修得し、家畜生産科学、環境生態学、食品科学、農業経済学、農業環境工学、植物生産科学等の農畜産学分野及びその学際分野における最新の知識と技術を駆使した先端研究を担うため、以下の能力を身につけた人に学位を授与します。

1. 倫理観

家畜生産科学、環境生態学、食品科学、農業経済学、農業環境工学、植物生産科学、畜産衛生学、動物医科学の農畜産学分野における最新の知識と技術と生命現象や社会活動に対する深い理解に基づいた倫理観を身につけている人

2. 国際通用力・リーダーシップ

・生体内部のミクロレベル、個体及び個体群を対象としたマクロレベル、さらに家畜生産を含めた広範囲な生命科学研究領域において国際水準の先端的研究ができる能力を身につけている人

・生体内部、個体及び個体群を対象とした生態学的研究領域において国際水準の先端的研究ができる能力を身につけている人

・農畜産物の加工・利用及びそれらの機能性・安全性についての高度な知識と技術及び国際水準の先端的研究ができる能力を身につけている人

・国内外の資源を利用し、食料の生産性向上を支えるための農業経済に関する国際水準の先端的研究ができる能力を身につけている人

・国内外の資源を利用し、食料の生産性向上を支えるための生産技術や環境制御に関する国際水準の先端的研究ができる能力を身につけている人

・動物医科学に関する幅広い専門分野の知識を身につけ、国際水準の先端的研究ができる能力を身につけている人

3. 表現力・コミュニケーション能力

家畜生産科学、環境生態学、食品科学、農業経済学、農業環境工学、植物生産科学分野における専門性について、思考・判断の過程を説明するために国際通用性のあるプレゼンテーション能力及びコミュニケーション能力を身につけている人

4. 専門的知識・技術

家畜生産科学、環境生態学、食品科学、農業経済学、農業環境工学、植物生産科学分野における高度な知識と技術を身につけ、獣医学分野、農畜産学分野及びその学際的分野に関する国際的な視野を持って、農畜産業のグローバル化に伴う多様な社会ニーズに対応できる実践力とリーダーシップを発揮し、国際水準の先端的な研究能力を身につけている人

〔畜産衛生学位プログラムのディプロマ・ポリシー〕

「食の安全確保」を担う国際的な研究者としての幅広い知識を有し、優れた問題解決ができる能力を身につけている人に博士（畜産衛生学）の学位を授与します。

【獣医学専攻博士課程】

帯広畜産大学大学院畜産学研究科獣医学専攻（博士課程）では、教育課程で定められた授業科目を履修して所定の修了要件単位を修得し、臨床獣医学、基礎獣医学、公衆衛生学等の獣医学分野及びその学際分野における最新の知識と技術を駆使した先端研究を担うため、以下の能力を身につけた人に学位を授与します。

1. 倫理観

基礎獣医学、病態獣医学、応用獣医学、臨床獣医学の獣医学分野における最新の知識と技術と伴侶動物、産業動物及び野生動物を対象として高度な最先端医療技術や社会活動に対する深い理解に基づいた倫理観を身につけている人

2. 国際通用力・リーダーシップ

・生体内部のミクロレベル、個体及び個体群を対象としたマクロレベル、さらに家畜生産

を含めた広範囲な生命科学研究領域において国際水準の先端的研究ができる能力を身につけている人

・ 生体内部、個体及び個体群を対象とした生態学的研究領域において国際水準の先端的研究ができる能力を身につけている人

・ 動物医科学に関する幅広い専門分野の知識を身につけ、国際水準の先端的研究ができる能力を身につけている人

・ 食品安全マネジメントシステムや国内外における農畜産物の安全監視に関する高度な専門知識と獣医療・動物医科学の優れた分析技術や家畜管理技術を活かし、食の安全や動物とヒトの健康の向上に貢献できる能力を身につけている人

3. 表現力・コミュニケーション能力

基礎獣医学，病態獣医学，応用獣医学，臨床獣医学等の獣医学分野における専門性について、思考・判断の過程を説明するために国際通用性のあるプレゼンテーション能力及びコミュニケーション能力を身につけている人

4. 専門的知識・技術

食品安全マネジメントシステムや国内外における農畜産物の安全監視に関する高度な専門知識と獣医療・動物医科学の優れた分析技術や家畜管理技術を活かし、食の安全や動物とヒトの健康の向上に貢献でき、獣医学分野，農畜産学分野及びその学際的分野に関する国際的な視野を持って、獣医学のグローバル化に伴う多様な社会ニーズに対応できる実践力とリーダーシップを発揮し、国際水準の先端的研究能力を身につけている人

VII. 学位論文審査基準

博士学位論文は、申請者が主体的に行った研究の成果をとりまとめ、日本語または英語で記載したものでなければならない。この論文について、研究科および専攻のディプロマポリシー（学位授与方針）に基づき、以下の観点を検討に入れて評価する。

1. 論文内容に合った適切なタイトルがつけられている。
2. 全体の序論（背景・目的），基礎となる学術論文を基盤とした章立て，総合考察，結語，引用文献から構成され，博士学位論文としての適切な体裁を整えている。
3. 先行する研究に関する情報が十分に調査・分析され，研究の背景および目的が明示されている。
4. 実施した研究方法が適正であり，具体的かつ明確に記述されている。
5. 得られた結果の内容が，文章，図表などとして適正で分かりやすく表示されている。
6. 結果について深く読解・考察されており，結論に至るまでの論旨が論理的に展開されている。
7. 新規性・独創性の高い研究内容が含まれている。
8. 研究成果の学術的価値が高く，将来への発展の可能性および社会への波及効果が大きいと期待される。
9. 関連研究等に関する文献の引用が適正であり，剽窃や無断引用を含む研究倫理の問題に対して十分な留意がなされている。

VIII. 学位授与の可否

学位論文審査及び最終試験の終了後，畜産学博士又は獣医学博士の主指導教員資格を有する全教員により構成される学位授与審査会において，各主査から各学位申請者の論文審査結果等の報告を行い，その後，投票により学位授与の可否を議決します。審査結果は学長に報告され，学長は，この審査結果を基に，教授会の意見を聴いて最終的な学位授与の可否を決定します。なお，学位授与審査会の議事は，出席者の4分の3以上の賛成をもって決定されます。

IX. 学位論文の公表について

「やむを得ない事由」がある場合を除き、博士学位論文の全文・内容の要旨・論文審査結果の要旨について、帯広畜産大学学術情報リポジトリで公表します。

「やむを得ない事由」により、論文の全文公表ができない場合は、所定の様式（「学位論文の公開審査及び博士学位論文のインターネット公表に関する申合せ」別紙様式2）により、その理由書を、学位を授与される3日前までに大学院教育部長に提出しなければなりません（入試・教務課に提出してください）。

なお、「やむを得ない事由」があると認められた場合は、速やかにインターネット公表を行う論文の要約を入試・教務課に提出してください。

※「やむを得ない事由」の例：

- ・インターネットに公表できない内容を含む場合（立体形状による表現や個人情報など）
- ・インターネット公表により明らかに不利益が発生する場合（特許申請，学術ジャーナル掲載予定，出版・刊行など）

X. 学位申請期日後の学位申請（遡及修了）

Ⅲ. の大学が定める申請期日に間に合わない場合であっても、当該学期の末日（3月31日又は9月30日）までにⅡ. の学位論文受理の条件が満たされれば、課程博士として学位を申請することが可能です。この場合、Ⅳ. の学位申請提出書類をすべて提出したうえで当該学期の末日付けで一旦退学します。その後、直近の大学院教育部会議で論文の受理の可否について審議し、受理後1年以内に審査等所定の審査が終了して学位を授与すべきとされた者については、退学日に遡って課程修了を認定（遡及修了）し、学位が授与されます。

【学位申請書類の作成要領】

I 学位申請時の学位論文

- 1 学位申請用の学位論文は、クリップ等で仮綴じし、学位審査委員会委員の数+1部を提出してください。(学位審査委員会委員が4名の場合は、5部提出)
- 2 使用する言語は、日本語又は英語とします。部分的にラテン語その他の言語を使用することはさしつかえありませんが、その場合は意味を明示してください。
- 3 用紙は、A4判の上質白紙とし、必ずワープロソフトを使用して作成し、印刷する場合は必ず片面印刷にしてください。なお、日本語の場合は、必ず左横書きとします。
- 4 本文におけるフォントサイズ、字数、行数等は、おおよそ次のとおりとしてください。
和文論文：フォントサイズ11-12ポイント、36-40文字/行、32-40行/ページ
英語論文：フォントサイズ10-11ポイント、字送り10-11ポイント、32-40行/ページ
※ただし、和文・英文とも、説明文など、より分かりやすい表現のために字体や大きさ等を部分的に混ぜて使用する等はさしつかえありません。
- 5 表紙、表題紙、目次を除く、ページ下部中央にページ数を付してください。
- 6 表紙および表題紙は、次のとおりとしてください。
 - (1) 表紙は、和文論文は和文で、英語論文は英文で書く。
 - (2) 和文論文の場合、和文の表紙に続いて英文の内表紙(表題紙)をおく。英語論文の場合は、英文の表紙に続いて和文の内表紙(表題紙)をおく。
 - (3) 表紙及び表題紙には、論文題目、修了年号、研究科名、課程・専攻名、大学名及び著者名を記入する。
 - (4) 論文題目は、できるだけ簡潔にし、必要に応じて副題(前後にダッシュ(-))を付すこと。また、和文では20ポイント以上、英文では16ポイント以上の文字を使い、英文の題目では、文頭と学名及び固有名詞の最初の文字のみを大文字とする。
 - (5) 修了年号は、年のみ記載すること(提出する年号ではなく修了予定の年号)。また、和文表紙は和暦とカッコ書きで西暦を記載し、英文表紙は西暦のみ記載する。
 - (6) 英文表紙における氏名の書き方は、「姓」「名」の順とし、姓はすべて大文字にする。

(表紙及び表題紙の例—A4判)

<p>北海道における農業の発展に関する研究</p> <p>令和〇〇年 (20〇〇)</p> <p>帯広畜産大学大学院畜産学研究科 畜産科学専攻博士後期課程 十 勝 未 来</p>	<p>Study on agricultural development in Hokkaido</p> <p>20XX</p> <p>TOKACHI Mirai Doctoral Program of Animal Science and Agriculture Graduate School of Animal and Veterinary Sciences and Agriculture Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine</p>
---	--

- 7 論文の内容構成は、おおよそ次のとおりとしてください。
 - (1) 表紙、表題紙に続いて目次をおき、そのあとに本文をおく。
 - (2) 本文は、緒論・序論から始まり、複数の章からなる本論をおき、最後に総合的な考察 (General discussion, General conclusion) をおく。
 - (3) 本文に続いて、摘要や要約 (Abstract, Summary) 等の内容抄録と参考文献等をおく。
なお、和文論文の場合は英文の、英語論文の場合は和文の摘要または要約を付すこと。
- 8 論文の文法上の体裁は、原則的に次のとおりとしてください。
 - (1) 句読点等について、和文・英文ともに読点にはカンマ「,」、句点にはピリオド「.」を用いる。ただし和文では、ピリオドの代わりに「。」を使用してもよい。論文題目は主語・述語を備えた文章ではないので句点「.」や「。」は付さないこと。
なお、カンマの使用については、名詞の列挙以外では和文と英文とで使用方法が異なる (英文: 倒置や 'of' の省略, 主語・接続詞の後, 等) ので注意すること。
また、中黒点「・」は英文ではほとんど用いないので注意すること。
 - (2) 原則として、和文の動・植物名はカタカナ書き、英文での学名はイタリックとする。
 - (3) その他の英文における大文字の使用については、一般的なルールに従ってください。
 - (4) 本文におけるパラグラフは、和文は1字下げ、英文は5文字程度下げ又は1行空きの段落で始める。
 - (5) 英文における行末での分綴法 (文節法, syllabication) は、辞書の表示 (中黒点等が付してある) を確認して行うこと。
 - (6) 和文での「及び、および」「或いは、あるいは」「更に、さらに」「即ち、すなわち」等の使い分けについては、どちらも許されるが同一論文内では一定とするのが望ましい。ただし、どの場合においても、前後の漢字やひらがなの連続によっては読みやすいように工夫をすること。
 - (7) 「」, 「」, 「」…のような場合は、カンマを省き「」 「」 「」とする。
- 9 「まる写し」「引き写し」「コピー」は盗作 (剽窃) 行為であり、犯罪です。他の人の論文や文献、インターネット上の資料等から一部を引用する場合、必要最低限の引用にとどめ、必ず出典を明記すること。また、自分の論文を引用する場合でも、必要な部分だけを引用することを意識し、章をまるごと引用するようなことがないよう、十分に留意すること。
- 10 引用した文献等は「参考論文」としてまとめ、1) 著者または編者、2) 訳者、3) 書名、4) 出版社、5) 出版年、6) 引用ページを必ず明記すること。なお、インターネットからの引用については、少なくとも、i) 資料の名称、ii) 資料の発行年もしくは公表年 (分かる場合)、iii) URL、iv) 検索日を明記しておくこと。

II 論文目録 (別紙様式第4号)

論文目録は、記入例、備考欄の指示に従って記入してください。
なお、提出時には備考欄の指示の箇所は削除してください。

1 学位論文題目

題目が英語の場合は和訳を () 内に記入してください。

[英語での表記方法]

- (1) 最初の単語、固有名詞及び学名を除いては、小文字とする。
- (2) 学名は、イタリック体とする。

2 学位論文の基礎となる学術論文

- (1) 学位申請者が筆頭著者で、その内容が学位論文の一部を構成しているものをいいます。
- (2) 記載方法は、記入例のとおりとし、題目、著者名、学術雑誌名、巻・号・頁、発行年月の順とします。(学術雑誌名は、略記しないこと。)

(3) 論文が未刊行の場合は、学術雑誌編集委員会から「学術雑誌第〇巻第〇号に掲載する」旨の証明書が交付されたものに限り、既刊として取り扱うので、証明書を必ず添付してください。論文が未刊行の場合は、発行年月の後に「(掲載証明付)」と記載してください。(発信元、日付が確認できるものであれば、FAX や E-mail の写しでも可)

(4) 共著について

- ① 申請者がその論文の共同研究において主たる役割を務めていること。
- ② 共著者が過去においていずれの大学に対しても学位論文として申請をしていないものであること。
- ③ 申請者がその論文を学位論文の内容とすることについて、共著者全員の承諾が得られたものであること。

3 参考論文

- (1) 参考論文とは、学位論文の基礎となる学術論文以外のもので、申請者が著者として加わって作成された学術論文をいいます。
- (2) 記載の仕方及び未刊行の場合の取り扱いは、学位論文の基礎となる学術論文と同様とします。

III 論文要旨（別紙様式第5号）

記入例、様式の備考欄の指示に従い記入してください。

なお、提出時には備考欄の指示の箇所は削除してください。

IV 提出書類の綴り方

(1) 保存用（1組）

次の順番に綴り、クリップ等で留めてください。

- ① 学位論文審査願 (別紙様式第2号)
- ② 論文目録 (別紙様式第4号)
- ③ 学位論文要旨 (別紙様式第5号)
- ④ 履歴書 (別紙様式第6号)
- ⑤ 学位論文の基礎となる学術論文
- ⑥ 参考論文 (ある場合)
- ⑦ 承諾書 (該当する場合) (別紙様式第7号)
- ⑧ 論文掲載証明書 (該当する場合)

※上記に加え、学位論文の全文をPDF 又はMicrosoft Word 形式の電子ファイルにして、CD-R やUSB 等の電子メディアに保存して提出してください。

(2) 学位審査委員会委員用（委員の人数分）

次の順番に綴り、クリップ等で留めてください。

- ① 論文目録 (別紙様式第4号)
- ② 学位論文要旨 (別紙様式第5号)
- ③ 学位論文の基礎となる学術論文
- ④ 参考論文 (ある場合)
- ⑤ 論文掲載証明書 (該当する場合)
- ⑥ 学位論文

V 提出書類の様式

次ページから掲載

V Forms for submission

Refer to the following pages.

別記様式第2号（第7条関係）（記入例）

学位論文審査願

注1：「提出」年月日

令和2年12月2日

国立大学法人帯広畜産大学長 殿

注2：「畜産科学専攻博士後期課程」
又は「獣医学専攻博士課程」

帯広畜産大学大学院畜産学研究科

畜産科学 専攻 博士後期 課程

注3：印鑑がない場合は必ず直筆で
署名すること

学籍番号 18170099

氏名 十勝 未来 印

国立大学法人帯広畜産大学学位規程第5条第2項の規定により、博士（~~農学~~/~~畜産衛生学~~/~~獣医学~~）の学位論文（4部及び電子ファイル）に下記の書類を添えて提出しますので、審査願います。

注4：該当する学位の種類以外を削除
もしくは二重取消線で消すこと

記

注5：「1」「2」「4」「6」は学位論文
審査委員の人数+1部を提出すること

- | | |
|------------------------|-----|
| 1 論文目録 | 5部 |
| 2 学位論文要旨 | 5部 |
| 3 履歴書 | 1部 |
| 4 学位論文の基礎となる学術論文及び参考論文 | 各5部 |
| 5 承諾書 | 各1部 |
| 6 論文掲載証明書 | 各5部 |

注6：主指導教員の直筆署名
と押印が必要。印字は不可

主指導教員氏名

畜大博士 印

Application for Dissertation Evaluation

Note 1: The date of submission
Year / Month / Day

Date: 2020. 12. 2

To: President of Obihiro University of
Agriculture and Veterinary Medicine

Note 2:
The 'Program' the candidate belonging,
'Animal Science and Agriculture' or
'Veterinary Science'

Applicant

Note 3: To print shall be expected
for 'Name of Applicant',
handwriting shall be avoided

Doctoral Program of Animal Science and Agriculture
Graduate School of Animal and Veterinary Sciences and Agriculture
Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine

Student ID: 18170099

Note 4: Handwriting should be
expected for 'Signature of
Applicant', E-signature cannot
be allowed

Name of Applicant: John SMITH

Signature of Applicant: John Smith

I am applying for the Doctoral degree (~~Agriculture / Animal and Food Hygiene / Veterinary Science~~) by submitting a dissertation (4 hard copies and the electronic file) and the required documents/forms, in accordance with Section 2, Article 5 of National University of Education, Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine

Note 5: Excluding the specialty of degree
to get applied, delete the letters or erase
them with a double strike-through line

- | | | |
|---|--------------------------------|-----------|
| 1 | Dissertation Index | 5 sets |
| 2 | Abstract of the dissertation | 5 sets |
| 3 | Curriculum vitae | 1 |
| 4 | The candidate's support letter | 5 of each |
| 5 | Letter(s) of approval | 1 of each |
| 6 | Certificate of publication | 5 of each |

Note 6:
'1', '2', '4', '6' shall be
submitted the number of
the Degree Committee
plus one sets

Note 7: Handwriting should be expected
for 'Signature of Main Advisor',
E-signature cannot be allowed

Signature of
Main Advisor

Hiroshi Chikudai

別記様式第4号（第4条，第7条，第9条関係）（記入例）

論 文 目 録

学位論文

題 目 ウシ卵管と子宮の体外培養系における局所免疫応答
(The local immune response in bovine oviduct and uterus *in vitro*)

注1：題目が和文の場合は英文題目を，英語の場合は和文題目をカッコ書きで付すこと。題目には句点（“.”や“.”）は付さないこと

学位論文の基礎となる学術論文

題 目 Effect of the dominant follicle aspiration before or after Luteal Phase Hormone surge on the corpus luteum formation in the cow

著者名 Tokachi M, Sato H, Suzuki T, Chikudai H

学術雑誌名 Journal of Reproduction and Development に発表・発表予定

(巻・号・頁) (60 ・ 1 ・ 110 ～ 116)

発行年月 2020年 11月 (論文掲載証明書)

注2：申請者=筆頭著者であること

注3：「発表・発表予定」は該当しない方を二重線で見え消しにすること

注4：印刷公表されていない場合は，掲載が決定した日付を記載し，「(論文掲載証明書)」と追記したうえで別途添付すること

題 目 ウシ卵胞および黄体におけるヒアルロン酸分解酵素の発現動態

著者名 十勝未来，佐藤花子，北海太郎，山田大学，畜大博士

学術雑誌名 北海道畜産学会報 に発表・~~発表予定~~

(巻・号・頁) (60 ・ 2 ・ 54 ～ 60)

発行年月 2020年 6月

参考論文

題 目 Expression and localization of apelin and its receptor APJ in the bovine corpus luteum during the estrous cycle and PGF2 α -induced luteolysis

著者名 Suzuki Y, Tokachi M, Takeda Y, Chikudai H

学術雑誌名 Reproduction に発表・~~発表予定~~

(巻・号・頁) (135 ・ 4 ・ 519 ～ 525)

発行年月 2020年 1月

注5：参考論文とは，学位論文の基礎となる学術論文以外のもの，申請者が著者として加わった論文のこと。記載方法・印刷公表されていない場合は，学位論文の基礎となる学術論文と同様の取り扱いとすること

注6：「提出」年月日

令和 2 年 1 2 月 2 日

注7：必ず，提出者本人が直筆で署名すること

学位申請者 氏名 (自署) 十勝 未来

- 備考 1 論文題目が外国語の場合には、() 書きで和訳を付すること。
- 2 学術論文等が2種以上あるときは、列記し、現物に番号を付すること（博士論文）。
- 3 修士論文については、学位論文の基礎となる学術論文および参考論文は要件ではないので記載は特に必要としない。

注8：提出時には、この備考欄の文言は削除すること

- ① 学位論文、基礎となる学術論文、参考論文の題目の表記方法
英文の場合、文頭の単語及び固有名詞の最初の文字のみ大文字とする。
(例) Study on agricultural development in Hokkaido
- ② 著者名の表記方法
- a) 日本語の場合：
姓・名の順とし、姓名の間はスペースで区切らない。
共著の場合は氏名ごとに、全角カンマ「，」または全角中黒点「・」で区切る
(例) 帯広太郎，稲田次郎，畜大花子 または 帯広太郎・稲田次郎・畜大花子
- b) 英語の場合：
姓・名の順とし、姓は頭文字のみ大文字、名は大文字で頭文字1字の表記とする。
共著の場合は氏名ごとに半角カンマと半角スペース「，」で区切る。ミドルネームは大文字で頭文字1字とし、前後を半角スペースで区切る。
(例) Obihiro T, Inada J, Smith T D

[Entry example]

Form No.4

Dissertation Index

Dissertation

Title: The local immune response in bovine oviduct and uterus *in vitro*
(ウシ卵管と子宮の体外培養系における局所免疫応答)

Note 1: Include a Japanese translation of an English title

The Candidate's Supportive Academic Paper(s)

1. Title: Effect of the dominant aspiration before or after Luteinizing Hormone surge on the corpus luteum formation in the cow
Author(s): Smith J, Sato H, Suzuki T, Chikudai H
Academic Journal: Journal of Reproduction and Development ~~published~~ · to be published
(Vol · No · Page) (60 · 1 · 110 ~ 116)
Date of Issue (Year/Month) 2020/11 (Certificate of publication attached)

Note 2: Candidate must be first author

Note 3: Erase either 'published' or 'to be published' with double strike-through line

Note 4: If a paper has been accepted, but not yet published, write (Certificate of publication attached) and attach the certificate separately

2. Title: Fat mobilization in Holstein cows fed betaine during perinatal period
Author(s): Smith J, Ramirez T, Inada J, Smith T D, Chikudai H
Academic Journal: Journal of Agriculture ~~published~~ · ~~to be published~~
(Vol · No · Page) (60 · 2 · 54 ~ 60)
Date of Issue (Year/Month) 2020/6

Reference Paper(s)

1. Title: Expression and localization of apelin and its receptor APJ in the bovine corpus luteum during the estrous cycle and PGF2 α -induced luteolysis
Author(s): Suzuki Y, Smith J, Takeda Y, Chikudai H
Academic Journal: Reproduction ~~published~~ · ~~To be published~~
(Vol · No · Page) (135 · 4 · 519 ~ 525)
Date of Issue (Year/Month) 2020/1

Note 5: Reference papers refer to academic papers that are not supportive academic papers, of which first author or co-author is the candidate. In the case of articles not yet published, they must be cited in the same way as supportive academic papers

Note 7: Handwriting should be expected for 'Signature of Applicant', E-signature cannot be allowed

Date: 2020. 12. 2

Note 6: The date of submission
Year / Month / Day

Signature of Applicant: John Smith

[Entry example]

- Notes
- 1 Fill in the Japanese translation for an English in the (),
 - 2 If there are 2 papers or more, number each of them,
 - 3 It is not necessary to fill in for master's thesis.

Note 8: Delete the box and text when submitting

1. About the title of the dissertation and all other papers on which the dissertation is based
The first letter of the title and the first letter of a proper noun must be capitalized.
e.g., Study on agricultural development in Hokkaido
2. About the author(s)'s name(s)
Order:
 1. family name (the first letter is capitalized)
 2. the first letter of the first name (capitalized)
 3. the first letter of the middle name(s) (if any, capitalized)e.g., Ramirez T, Inada J, Smith T D
Punctuation: Follow the example above for commas.

別記様式第5号（第4条，第7条，第9条関係）（記入例）

学 位 論 文 要 旨

注1：「畜産科学専攻博士後期課程」
又は「獣医学専攻博士課程」

畜産科学 専攻 博士後期 課程

注2：印鑑がない場合は必ず直筆で
署名すること

学籍番号 18170099

氏 名 十勝 未来 印

論文題目： ウシ卵管と子宮の体外培養系における局所免疫応答

(The local immune response in bovine oviduct and uterus in vitro)

注3：題目が和文の場合は英文題目を，英語の場合は和文題目をカッコ書き
で付すこと。題目には句点（“.”や“.”）は付さないこと。また，英文の場
合，文頭の単語及び固有名詞の最初の文字のみ大文字とすること

要旨

注4：日本語の場合，1800～2200字で記載すること

- 備考
- 1 論文題目が英語の場合には，（ ）書きで和訳を付す。
 - 2 博士論文については，日本語の場合1800～2200字，英語の場合1000～1400語とする。修士論文については，それ以下でもかまわない。
 - 3 図表は，要旨には記載しないこととする。
 - 4 枚数は1枚を超えても差し支えない。

注5：提出時には，この備考欄の文言は削除すること

[Entry example]

Form No.5

Abstract of Thesis/Dissertation

Applicant

Note 1: To print shall be expected for 'Name of Applicant', handwriting shall be avoided

Doctoral Program of Animal Science and Agriculture
Graduate School of Animal and Veterinary Sciences and Agriculture
Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine
Student ID: 18170099

Note 2: Handwriting should be expected for 'Signature of Applicant', E-signature cannot be allowed

Name of Applicant: John SMITH
Signature of Applicant: John Smith

Title : The local immune response in bovine oviduct and uterus in vitro
(ウシ卵管と子宮の体外培養系における局所免疫応答)

Note 3: Include a Japanese translation of an English title. Then, the first letter of the title and the first letter of a proper noun must be capitalized

Abstract

Note 4: Write text between 1,000 and 1,400 words, when writing in English

Notes 1. Fill in the Japanese translation for an English in the ().

2. Abstract should be between 1,800 and 2,200 characters in Japanese, or be between 1,000 and 1,400 words in English.

3. Do not include figures and tables.

4. Abstract can be longer than one page.

Note 5: Delete the box and text when submitting

別記様式第6号（第7条，第9条関係）（記入例）

履 歴 書

ふりがな とかち みらい
氏 名 十 勝 未 来 (性別：女)

生年月日 平成 2 年 1 0 月 1 日生

本 籍 北海道

現 住 所 〒080-XXXX 帯広市稲田町〇〇 電話（090）XXXX-XXXX

学歴（高等学校卒業以後の学歴を年代順に記入する。）

平成21年	4月	帯広畜産大学畜産学部畜産科学課程	入学
平成25年	3月	同	卒業
平成25年	4月	帯広畜産大学大学院畜産学研究科修士課程	入学
平成27年	3月	同	修了
平成30年	4月	帯広畜産大学大学院畜産学研究科博士後期課程	入学

研究歴（研究期間・研究内容等を年代順に記入する。）

平成28年4月～平成30年3月 〇〇畜産研究所 ウシの肥育に関する研究

職 歴

平成27年4月～平成28年3月 〇〇畜産株式会社 総合職
平成28年4月～平成30年3月 〇〇畜産研究所 研究員

学会及び社会における活動状況

平成25年10月～現在 日本畜産学会
平成29年 4月～現在 日本繁殖学会

注1：内容については，必要な項目についての記載があれば，それほど様式にこだわるものではありません

賞 罰

平成26年 〇月 日本畜産学会第〇回大会 優秀発表賞

上記のとおり相違ありません。

令和 2 年 1 2 月 2 日
注2：「提出」年月日

注3：必ず，提出者本人が直筆で署名すること

氏名（自署） 十勝 未来

[Entry example]

Note 1: This format can be changed to some extent
as long as the necessary contents are described

Form No.6

Curriculum Vitae

Name: John SMITH (sex : M / ♀)

Date of Birth: 1990/ 10/ 1 Note 2: Year / Month / Day

Nationality United Kingdom of Great Britain

Address 〒080-XXXX Coopwest #X, Nishi-19-Minami-42, Obihiro Tel: 090-XXXX-XXXX

Academic background (chronologically after high school)

Year/Month	school	enrollment/graduation
2009/ 9	XX University, U.K.	enrollment
2012/ 7	do.	graduation
2012/ 9	Graduate School of XX University, U.K.	enrollment
2014/ 7	do.	graduation
2018/ 4	Graduate School of Obihiro University	enrollment

Research Career (chronologically period and title of research)

Year/Month	Research Title
2014/10-2018/3	Economical study on improving a dairy farm hygiene

Working Career

Year/Month	Office/Institute/School etc
2014/10-2018/3	Research Institute of Animal Health of XXXX, U.K.

Activity in society and academic society

Year /Month	Item
2014/12 -	International Society of Animal Hygiene
2018/ 6 -	Japanese Society of Animal Science

Rewards and punishments

Year/Month	Item
2019/XX	Best Presentation Award, XX th Congress of Japanese Society of Animal Science

Note 3: The date of submission
Year / Month / Day

Above-mentioned is correct in every detail.

Date: 2020/ 12/ 2

Signature of applicant:

John Smith

Note 4: Handwriting should be expected
for 'Signature of applicant', E-signature
cannot be allowed

別記様式第7号（第7条，第9条関係）（記入例）

承 諾 書

令和 2 年 11 月 20 日

国立大学法人帯広畜産大学長 殿

注1：印鑑がない場合は必ず直筆で署名すること

共著者氏名 佐藤 花子 印

注2：所属・職名については，最新のものに記載すること

所属・職名 十勝未来大学農学部 准教授

論文題目

ウシ卵胞および黄体におけるヒアルロン酸分解酵素の発現動態

注3：「発表・発表予定」は該当しない方を二重線で見え消しにすること

学術雑誌名 北海道畜産学会報 に発表・~~発表予定~~

(巻・号・頁)

(60 ・ 2 ・ 54 ～ 60)

注4：学位申請者氏名を記載すること

発行年月 2020 年 6 月

上記論文を 十勝 未来 氏が，帯広畜産大学大学院畜産学研究科へ博士の学位申請論文として提出することを承諾します。

なお，当該論文は，学位申請の基礎となる学術論文として過去において使用せず，また，将来においても使用しません。

[Entry example]

Form No.7

Letter of Approval

Date: 2020. 11. 20

To: President of Obihiro University of
Agriculture and Veterinary Medicine

Note 1: To print shall be expected for 'Name of Co-Author', handwriting shall be avoided

Note 2: Handwriting should be expected for 'Signature of Co-Author', but if the case that it is very hard to get handwriting signature, e.g. co-author lives in abroad, E-signature can be allowed

Name of Co-Author: Tomas Ramirez

Signature of Co-Author:

Tomas Ramirez

Note 3: The latest information of co-author should be expected for 'Organization' and 'Job title'

Organization: Tokachi Agricultural University

Job title: Professor

Title of the paper:

Fat mobilization in Holstein cows fed betaine during perinatal period

Note 4: Erase either 'published' or 'to be published' with double strike-through line

Academic Journal

Journal of Agriculture

published • ~~to be published~~

(Vol • No • Page)

(60 • 2 • 54 ~ 60)

Date of Issue (Year/Month)

2020 / 6

Note 5: Write the name of applicant for Doctoral degree

I approve that John SMITH submits a dissertation for Doctoral degree at Graduate School of Animal and Veterinary Sciences and Agriculture, Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine using above-mentioned paper as supportive academic paper.

I didn't use the above-mentioned paper as supportive academic paper for a Doctoral degree and won't in the future.